

- 問1 中部地方に位置する新潟県、長野県、静岡県などの周辺地域において、岐阜県にあるユネスコの世界文化遺産に登録されている伝統的な家屋様式として正しいものを選びなさい。 (2026年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 流水が運ぶ栄養分による豊かな生態系が評価された自然遺産の知床 | 2. 豪雪に耐えるための急勾配な茅葺き屋根が特徴の白川郷の合掌造り | 3. 樹齢千年を超えるスギの原生林が自生し、自然遺産に登録されている屋久島 | 4. 海上に立つ大鳥居が特徴的で、平安時代の建築様式を伝える厳島神社 |
|-----------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|
- 問2 富山県砺波市などの散村地域において、1960年代には曲線状で細かく入り組んでいた道路が、1990年代後半には直線状の道路へと再整備されました。このような土地基盤の整備を中心となって進めた事業の名称として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 農業構造改善事業 | 2. 国土利用計画事業 | 3. 地方創生整備事業 | 4. 高度経済成長事業 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
- 問3 静岡県内の工業都市とその特徴について述べた次の文のうち、東海工業地域の特色を正しく表しているものはどれですか。 (2026年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 高速道路のインターチェンジ周辺に、安価で広い用地を求めて自動車工場や電気機械の工場が移転し、内陸型の工業が発達している。 | 2. 東京都から神奈川県にかけての沿岸部に位置し、出版・印刷業や、高度な技術を要する中小企業の工場が密集している。 | 3. 浜松市を中心にオートバイや楽器の製造が発展し、富士市では富士山の豊富な湧水を利用した製紙業が盛んに行われている。 | 4. 名古屋市や豊田市を中心に、日本最大の出荷額を誇る自動車工業が集積しており、周辺には石油化学コンビナートも形成されている。 |
|---|---|---|---|
- 問4 長野県の諏訪湖周辺に位置する諏訪盆地では、明治時代から昭和初期にかけて生糸の製造が盛んに行われていました。第二次世界大戦後、この地域では製糸業で培われた技術や労働力を活かして、時計やカメラなどを製造する特定の工業が発展しましたが、その工業の名称として最もふさわしいものを選びなさい。 (2026年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|
| 1. せんい工業 | 2. 重化学工業 | 3. 自動車工業 | 4. 精密機械工業 |
|----------|----------|----------|-----------|
- 問5 新潟市の中心部を描いた地図において、市役所や新潟駅などの主要施設の間を通り、河口付近に重要文化財である萬代橋が架けられている、日本で最も長い河川の名称を選びなさい。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 最上川 | 2. 阿賀野川 | 3. 信濃川 | 4. 天竜川 |
|--------|---------|--------|--------|
- 問6 静岡県の産業構造の特徴として、第2次産業の就業者割合が他の地域に比べて高いことが挙げられる。この要因となった背景として最も適当なものとはどれか。 (2025年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 自動車や楽器などの製造業が発達し、東海工業地域の一角を占めているため | 2. 美しい自然景観を生かした観光業が主要産業となっているため | 3. 広大な土地を利用した大規模な畑作や酪農が展開されているため | 4. リンゴなどの果樹栽培が盛んで、それに伴う食品加工業も多いため |
|---------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
- 問7 新潟県や富山県といった北陸地方の県における、土地利用の統計的な特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。耕地面積全体に占める「田」と「畑」の割合に着目して答えなさい。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 耕地面積のうち、田の占める割合が80%を超える非常に高い水準にある | 2. 都市化が進んでいるため、田の面積は耕地全体の30%以下に留まっている | 3. 耕地面積のうち、田と畑がほぼ50%ずつで、混合農業が盛んである | 4. 果樹園などの畑地利用が中心であり、田の面積は10%未満である |
|--------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
- 問8 日本の工業立地において、静岡県富士市周辺で製紙・パルプ工業が発達した背景と、富山県などでアルミニウム工業が発達した背景の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。 (2025年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 富士市周辺は広大な森林資源を背景とした木材供給が容易であり、富山県などは海外からの原料輸送に有利な大規模な港湾設備が整っていたため。 | 2. 富士市周辺は消費地である首都圏に近い利点を活かしたためであり、富山県などは近隣で産出される良質な石炭がエネルギー源としたため。 | 3. 富士市周辺は伝統的な和紙作りの技術を継承したためであり、富山県などは北陸工業地域の中心として機械工業との連携が強かったため。 | 4. 富士市周辺は富士山の豊富な湧水を利用でき、富山県などは雪解け水などを利用した水力発電による安価な電力を利用できたため。 |
|---|--|---|--|
- 問9 三重県などの山地や谷間の傾斜地において、平地が少ない地形を利用するために斜面を切り開き、階段状に作られた水田を何と呼びますか。 (2016年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|--------|-------|
| 1. 段々畑 | 2. 棚田 | 3. 干拓地 | 4. 輪中 |
|--------|-------|--------|-------|
- 問10 日本列島のほぼ中央に位置し、太平洋に面した静岡県において、富士山周辺の豊かな湧水や河川水などの豊富な水資源を活用して発達した、出荷額が全国1位を誇る工業の種類を選びなさい。 (2023年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|-------------|-----------|
| 1. 金属加工業 | 2. 繊維工業 | 3. 製紙・パルプ工業 | 4. 精密機械工業 |
|----------|---------|-------------|-----------|
- 問11 青森県、福井県、鹿児島県、愛知県の各県庁所在地の面積と人口密度を比較した統計において、一平方キロメートルあたりの人口密度が七千人を超えており、中部地方の政治・経済の拠点となっている都市を答えなさい。 (2026年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|---------|
| 1. 鹿児島市 | 2. 福井市 | 3. 青森市 | 4. 名古屋市 |
|---------|--------|--------|---------|
- 問12 日本の諸地域において、気候に合わせた住まいの工夫が見られます。岐阜県などの雪が多い地域で、屋根の傾斜を急にすることで雪対策を行っている伝統的な住居の名称として正しいものを選びなさい。 (2017年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 合掌造り | 2. 寝殿造り | 3. 書院造り | 4. 高床住居 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問13 富山ライトレールの開業前後における利用者数の変化について、JR時代の2005年とLRT導入後の2006年を比較した統計があります。この統計では、60代の利用者が260人から814人に、70代の利用者が164人から566人に増加したことが示されています。この変化について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 10代の利用者の増加割合が最も大きく、高齢者の増加率を大きく上回った。 | 2. 高齢者の利用者は増えたものの、JR時代と比較した伸び率は2倍未満にとどまった。 | 3. 50代の利用者が全ての年代の中で最も多くなり、利用者層の中心となった。 | 4. 60代と70代の利用者が、JR時代と比較してそれぞれ3倍以上に急増した。 |
|--|--|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 豪雪に耐えるための急勾配な茅葺き屋根が特徴の白川郷の合掌造り	岐阜県の白川郷は、富山県の五箇山とともに「白川郷・五箇山の合掌造り集落」として世界文化遺産に登録されています。この地域は日本有数の豪雪地帯であり、雪の重みで家屋が倒壊するのを防ぐため、屋根が急勾配の茅葺き（合掌造り）になっているのが最大の特徴です。選択肢にある屋久島や知床は世界自然遺産であり、厳島神社は広島県に位置する文化遺産です。
問2	答え 1 農業構造改善事業	日本の農業における生産構造の遅れを解消し、農家の所得向上や生活環境の整備を目指して実施されたのが農業構造改善事業です。砺波平野の散村ではこの事業を通じて、散在する住宅の利便性を保ちつつ、近代的な農業経営が可能なように道路や用水路、耕地の形状が直線的に整備されました。
問3	答え 3 浜松市を中心にオートバイや楽器の製造が発展し、富士市では富士山の豊富な湧水を利用した製紙業が盛んに行われている。	東海工業地域は、特定の巨大都市に依存するのではなく、浜松市（輸送用機械・楽器）や富士市（製紙）といった各都市が独自の地場産業や資源背景をもとに発展してきました。選択肢にある自動車工業の集積は中京工業地帯、印刷業や中小工場の密集は京浜工業地帯、内陸型工業の発展は北関東工業地域の特徴です。
問4	答え 4 精密機械工業	諏訪盆地は、明治時代には器械製糸による生糸の生産が盛んな地域でした。戦後は、製糸業で培われた手先の器用な労働力や、内陸部特有の湿度が低く澄んだ空気、そして清らかな水といった環境条件が、微細な部品を組み立てる時計やカメラなどの製造に適していたため、精密機械工業が急速に発展しました。その様子から「東洋のスイス」とも呼ばれました。
問5	答え 3 信濃川	新潟市の中心市街地を貫くように流れるこの河川は、古くから水運や農業に利用されてきました。河口付近に位置する萬代橋は新潟市のシンボルの一つです。同じ新潟県を流れる阿賀野川と混同されやすいですが、日本最長の河川という特徴から判断することができます。
問6	答え 1 自動車や楽器などの製造業が発達し、東海工業地域地の一角を占めているため	工業出荷額などが全国でも上位に位置する工業県であり、特に輸送用機械や楽器などの製造業に従事する人口が多いため、第2次産業の割合が高くなる。選択肢にある大規模な畑作や酪農は北海道、リンゴ栽培は青森県の特徴である。
問7	答え 1 耕地面積のうち、田の占める割合が80%を超える非常に高い水準にある	北陸地方は日本を代表する米どころであり、特に新潟県などの統計を見ると、耕地面積の大部分を田が占めていることがわかります。具体的には、耕地全体のうち80%以上が田となっており、これは冬の積雪の影響で裏作（冬の間に別の作物を育てること）が難しく、米の単作地帯として発展してきた歴史的・気候的な背景が影響しています。
問8	答え 4 富士市周辺は富士山の豊富な湧水を利用でき、富山県などは雪解け水などを利用した水力発電による安価な電力を利用できたため。	製紙・パルプ工業は製造工程で大量の水を必要とするため、富士山の豊かな湧水が得られる静岡県富士市周辺で発達しました。一方、アルミニウムの精錬には極めて大量の電力を消費するため、「電気の新潟」とも呼ばれます。そのため、急流河川や雪解け水を利用した水力発電による安価な電力が得やすかった富山県などに工場が立地しました。
問9	答え 2 棚田	山がちで平地が少ない地域において、傾斜地に階段状に作られた水田は棚田と呼ばれます。選択肢にある「段々畑」は、同様の地形で果樹や野菜などを栽培する畑を指し、「干拓地」は海や湖を仕切って排水し陸地化した場所を指すため、水田の形態としては棚田が正解となります。
問10	答え 3 製紙・パルプ工業	紙の製造工程では、原料の洗浄やパルプの希釈、冷却などのために大量の清浄な水を必要とします。静岡県は富士山からの豊かな湧水や河川水が得られるという地理的条件に恵まれていたため、古くからこの工業が発達し、日本一の出荷額を維持しています。
問11	答え 4 名古屋市	愛知県の県庁所在地である名古屋市は、他の地方の県庁所在地と比較しても人口密度が非常に高く、大規模な都市圏を形成しています。これは、名古屋市が中部地方全体を統括する政治・経済の拠点（広域中心都市）としての機能を持っているためです。
問12	答え 1 合掌造り	岐阜県の白川郷や富山県の五箇山に見られる、急傾斜の茅葺き屋根が特徴の住居は「合掌造り」と呼ばれます。この名称は、急な屋根の形が、手を合わせて拝む「合掌」の形に似ていることに由来しています。雪深い地域において、積雪の重みから家を守るための合理的な建築様式として発展しました。現在は世界文化遺産にも登録され、地域の貴重な文化資源となっています。
問13	答え 4 60代と70代の利用者が、JR時代と比較してそれぞれ3倍以上に急増した。	富山ライトレール（LRT）の導入による効果を年代別に分析すると、高齢者層の利用に劇的な変化が見られました。具体的には、60代の利用者が約3.1倍（260人から814人）、70代の利用者が約3.4倍（164人から566人）となっており、いずれも3倍を超える大幅な増加を記録しています。これは、公共交通の利便性向上やバリアフリー化が、高齢者の外出促進に大きく寄与したことを示しています。